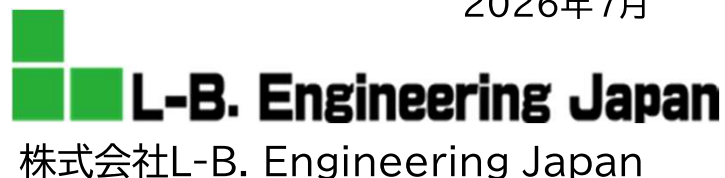


関係各位

2026年7月



L-B. Engineering Japan と 横浜F・マリノスの絆を強く

-EV卒電池を使い街を明るく、楽しく、そして防災に強い街づくりへ-

株式会社L-B. Engineering Japan(本社:横浜市旭区、代表取締役社長 加東重明)は、このたび横浜マリノス株式会社とのスポンサー契約を、2026年7月1日から2027年6月30日まで継続することを決定いたしました。

当社は、未来のサッカーを愛する子どもたちへ豊かな環境を引き継ぐため、EV卒電池のリユース・リサイクルを推進し、限りあるレアメタル資源の有効活用を通じて、持続可能な資源循環型社会の実現を目指してまいります。

契約形態

オフィシャルスポンサー



©1992 Y.MARINOS

Yokohama F・Marinos

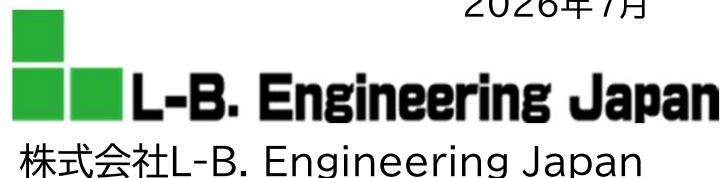
X



L-B. Engineering Japan

関係各位

2026年7月



■環境への取り組み

EV卒電池には、車載用途を終えた後も約3分の2の容量が残されています。そのため、街路灯や定置用蓄電池などの用途において、まだまだ十分に活用することができます。

また、EV卒電池には、リチウムやコバルト、ニッケルなど、日本国内では十分に採掘できない貴重なレアメタルが含まれています。これらの限りある資源を有効活用するため、EV卒電池をリパーパス製品として新たな価値を生み出し、その役目を終えた後は適切にリサイクルすることで、資源循環の実現を目指しています。

限りある資源を次世代へつなぎ、未来の子どもたちへ持続可能な地球環境を引き継ぐこと。それが、私たちL-B. Engineering Japanの使命であると考えています。

■契約を通じて

本スポンサー契約を通じて、当社製蓄電池を、横浜F・マリノスのホームスタジアムである日産スタジアムのVIPラウンジへ無償貸与いたしました。

冬季開催時には、クッキングヒーターへの電力を供給し、ご来場いただく皆様へ温かいお食事を提供できる環境づくりに貢献しています。

また、日産スタジアムは大規模災害発生時の広域避難場所にも指定されています。当社の蓄電池は、停電時におけるスマートフォンの充電や照明用電源など、災害備蓄設備の一つとしても活用いただくことを想定しています。

私たちは、平時には快適なスタジアム運営を支え、有事には地域の防災力向上に貢献することで、地域社会に寄り添う企業を目指してまいります。

■今後の展望

当社は今後も、横浜F・マリノスの選手・スタッフをはじめ、ファン・サポーターの皆様を微力ながら応援し続けてまいります。サッカーを愛する多くの方々が安心・安全・快適に集い、笑顔で過ごせる横浜のまちづくりに貢献するとともに、未来の子どもたちへ持続可能な社会を引き継ぐため、地域社会とともに歩み続けてまいります。